

報告事項ク

令和7年度県立夜間中学教育課程について

令和7年度県立夜間中学教育課程について、別紙のとおり報告します。

令和7年4月14日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

学校教育法第48条、学校教育法施行規則第74条及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条に基づき、生徒の様々な学習歴、成育歴を踏まえながら、公立中学校としての学びを基本とし、教育課程を編成しましたので、報告します。

＜基本方針＞

- ・コンセプトに沿った教育課程の編成

目指す学校の姿

「いろとりどり〔色鳥取〕に、ともに自分らしく学ぶ」

「学ぶ」よろこび、「つながる」よろこび、「社会の中で生きる」よろこび

1 教育課程の具体について

(1) コンセプトに沿った教育課程

①「学ぶ」よろこびに関連して

- ・一人ひとりの「わかった」「できた」を大切にした教科や学年の枠を超えた学び合い
→各教科等で関連する学習内容は、指導時期を合わせたり学年の枠を超えたりする等、学びに効果的な年間指導計画を工夫し、授業内容を精選した上で、授業時数を配当する。（カリキュラム・マネジメント）
- ・生徒の学習歴等を踏まえ、生徒と面談した上で、個に応じた学習計画を作成
(場合によっては小学校の学習内容を扱うこともある)
→学びの基本となる国語と数学の授業時数を多く確保し、個々の学習計画に対応する。日本語での学習に不安がある生徒に対応する。
→時数を多くした国語と数学の授業を通して、必要に応じて個別に日本語指導を行う。

[各教科等の授業時数]

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1	国語 (4)				社会 (2)		数学 (4)				理科 (2)		音楽	美術	保体	技家	外国語 (2)		総合	道・学
2	国語 (4)				社会 (2)		数学 (3)			理科 (3)			音楽	美術	保体	技家	外国語 (2)		総合	道・学
3	国語 (3)			社会 (3)			数学 (4)				理科 (2)		音楽	美術	保体	技家	外国語 (2)		総合	道・学

②「つながる」よろこびに関連して

- ・ダイバーシティ（多様性）を生かした学び合いの充実
→各教科等において、さまざまな事情や背景などを含めた個性を出しながら自分の考えを表現し、学び合う。（多文化コミュニケーション）
→「ふるさと鳥取」を意識し、全校生徒で協力する学校行事等を計画し、内容に応じて地元住民を招く。
- ・地域の方をはじめ、学校外のさまざまな人と出会い、連携・協働する社会に開かれた教育課程の実施
→地域や他校との交流・連携する。

③「社会の中で生きる」よろこび

・「ふるさと鳥取」に生きるよろこびを実感する教育課程

→卒業の先にある夢や目標に向かうため、特別活動等の進路学習においてキャリア・パスポート※を活用する。

・一社会人として自立した生活を送るための実践的な学習（表１）

→社会保障制度や各種手続き等（租税教室、消費者教育、金融教育等を含む）を実施するため、第１、２学年と比較し、第３学年の社会科の授業時数を増やす。（家庭科と教科横断的に取り組むことも想定）

※まなびの森学園における「キャリア・パスポート」とは、ふるさと鳥取で学ぶ生徒一人一人が、鳥取のことを思い、自己の成長に気づいたり、支えてくれている身近な人たちの思いを感じたりしながら、学校、家庭及び地域での学びをつなぐためのもの（生徒が活動を記録し蓄積する）。

（２）週予定表（週２０コマ）

校時	月	火	水	木	金
０	A	B	C	D	E
１	○	○	○	○	○
２	○	○	総合	技・家	美術
３	○	音楽	保体	○	道・学
４	A	B	C	D	E

＜週予定表の考え方＞

遠方からの通学者及び就労していない者の通学を想定し、遅い時間帯の公共交通機関の便数が少ないことも考慮した上で、早い時間帯の登下校を希望する場合の時間割と通常的时间割の２通りをあらかじめ作成しておく。

① ０校時と４校時は同じ教科、同じ授業を行い、早く登下校する者に対応する。

② ０校時は、個別指導（補習学習、教育相談等）の時間にも充てる。

③ 保健体育は必要に応じ、鳥取市立湖東中学校の体育館を借りて実施する。

（３）時間割

校時	時間帯	分
０校時	１６：４５～１７：２５	４０分
はじめの会	１７：３０～１７：４０	１０分
１校時	１７：４５～１８：２５	４０分
２校時	１８：３０～１９：１０	４０分
休憩（補食）	１９：１０～１９：２０	１０分
３校時	１９：２０～２０：００	４０分
４校時	２０：０５～２０：４５	４０分
おわりの会・掃除	２０：４５～２０：５５	１０分

2 令和7年度教育課程実施計画

学校の教育目標		いろとりどり[色鳥取]に、ともに自分らしく学ぶ					
令和7年度重点目標		1 生徒一人ひとりの「わかった」「できた」を大切にしたい学びの積み上げ。 2 生徒誰もが安心して学ぶことができる環境づくり。 3 学び直しを希望する人とつながる（ニーズの掘り起こし）。					
教科・領域等		各教科等の努力点			年間時数 (1 単位時間 40 分)		
					1 年	2 年	3 年
国 語		生きて働く、確かな言葉の力を育てる。			1 5 2	1 5 2	1 1 0
社 会		生徒が社会的事象に興味・関心を持ち、主体的に社会的な見方・考え方を働かせる授業づくりに努める。			7 6	7 6	1 1 0
数 学		課題を解決する活動を通して、数学的な思考力、判断力、表現力を高める。			1 5 2	1 1 4	1 4 6
理 科		学習課題に対し観察・実験などを通して、自分の考えを導き、「わかった」「できた」を実感できる授業展開を工夫する。			7 6	1 1 4	7 3
音 楽		主体的に学習に取り組み、音楽の要素を知覚し、感受したことを表現できる生徒を育てる。			3 8	3 8	3 6
美 術		主体的に学習に取り組み、表現・鑑賞活動を通してお互いを認め合える生徒を育てる。			3 8	3 8	3 7
保健体育		体育や保健の見方・考え方を働かせ、生涯にわたって運動に親しむ力を育む。健康と安全についての理解や生活に生かせる力を育てる。			3 8	3 8	3 7
技術・家庭		これからの生活を工夫想像し、社会を主体的に生き抜くための力を育てる。			3 8	3 8	3 7
外国語		4 技能（5 領域）の力をバランスよく鍛え、生徒のコミュニケーション能力の育成に努める。			7 6	7 6	7 4
特別の教科 道徳		意見を伝え合うことを通して、自らの考えを再確認し、深めることができる授業展開を工夫する。			1 9	1 9	1 8
特別活動（学級活動）		社会のきまりを守り、人を大切にして認め合い・支え合う学級集団の育成に努める。			1 9	1 9	1 8
総合的な学習の時間		体験的な活動や、人との関わりから将来や職業について考えることを通して、自分の良さや可能性を探り、自己の生き方を考えることができる生徒を育成する。			3 8	3 8	3 7
計					7 6 0	7 6 0	7 3 3
特別活動	生徒会活動	自分から考え、行動することのできる生徒を育てる。			7	7	6
	学校行事	儀式	文化	健康安全・体育	旅行・集団宿泊	勤労生産・奉仕	
		入学式（1） 始業式（0.5×3） 終業式（0.5×3） （3年は0.5×2） 卒業式（2）	文化祭（4）	運動会（4） ユニバーサルスポーツ大会（4） 身体測定（1） 避難訓練（2）	ナイトウオーク（4） 修学旅行（8）（3年のみ）	全校美化（2）	
		年間の学年別時間数		1 年 2 7		2 年 2 7	
スクール・ミッション		○さまざまな理由で十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した人や、小学校や中学校を卒業していない人の学びたい願いにこたえ、中学校の学び直しの場を提供します。 ○世代や国籍、これまでの学びの経験の違いなど、ダイバーシティ[多様性]を生かした学び合いの中で、社会[ふるさと（鳥取をはじめ多様な地域）]の人・もの・仕事とつながることを後押しします。					